



7/
26~

祝
全国大会出場！
表敬訪問



香久山ビッグメイツエンゼルス
松並柚菜さん（田中 3 年）
第 23 回全日本女子軟式野球学生選手権大会
（中高生の部） 出場



郡山リトルシニア
佐古奨治さん（北中 3 年 / 近畿大会で打率 6 割 6 分により優秀選手賞受賞）、田中伸季さん、米田魁さん（田中 2 年） 第 16 回林和男旗杯野球大会出場



オール奈良
塚本理里夢さん（田小 6 年）、平島羽奈乃さん（北小 6 年）
NPB ガールズトーナメント 2025 全日本女子学
童軟式野球大会



橿原磯城リトルシニア
大塚永喜さん、藤岡來斗さん、矢追壘弥さん、永野彪牙さん（田中 3 年）
エイジェックカップ第 53 回リトルシニア日本選
手権大会、第 19 回全日本中学野球選手権大会
ジャイアンツカップ 出場



白橿南平野 BVC
富井健太さん、藤岡倅生さん（田中 2 年）
HEKINAN マンモスカップ JVA 第 5 回全日本ビーチ
バレーボール U15 選手権大会（中高生の部） 出場

全国大会に出場することを報告するため、
町内の児童・生徒が高江町長らを表敬訪問
されました。

大会へ臨む選手たちに、町長から激励の
言葉がかけられました。



青垣生涯学習センターで町食生活改善推進員協議会による「夏休み親子クッキング」が行われました。この教室は、第 3 次田原本町食育推進計画の一環として実施しています。今回はハムたまおにぎり、コーンシューマイ、フルーツババロアを親子で楽しく作り、美味しくいただきました。

7/
24

親子クッキング
料理にチャレンジ！



大和精機株式会社代表取締役及び奈良県機械工業協同組合理事長の吉村之宏さんが旭日双光章を受章されたことを報告するため、高江町長を表敬訪問されました。

この勲章は中小企業や地域産業の振興、発展に長きにわたり尽力してきた個人に授与されます。

6/
18

旭日双光章 受章
吉村之宏さん表敬訪問

町長 メッセージ

Vol.17

子どもたちの未来に 向けて



町長活動記録

This is Me ! 〈これが自分だ〉

町全体で目指す教育の姿をまとめた教育大綱を8年ぶりに改定しました。基本理念に掲げる「This is Me ! 〈これが自分だ〉」のとおり、子どもたちが今あるそのままの自分を肯定することこそが、さらなる成長や幸福度の向上に繋がるものと確信しております（大人にとっても大切です）。

改定にあたり、小中学校の先生方や子どもたちの意見なども反映しました。プロセスに参画いただいた全ての皆様に改めて感謝を申し上げます。今後は、大綱の抽象的な言葉を、私を含む全ての関係者が具現化し実践しなければなりません。具現化に向け全力で取り組みますので、皆様の御協力をよろしくお願いします。

また、小中学校ごとの教育活動等を、寄附を通じて応援していただくための「田原本町未来の学び応援基金」という新しい基金を設置しました。町として子

どもたちへの投資たる教育へ力をいれておりますが、寄附というかたちで財政的な側面で子どもたちの教育環境の充実に応援いただけるようであれば、ぜひ教育委員会までお声掛けください！（詳細は4ページ）

タワモ デマンド交通 tawamo を もっと気軽に！安価に！

本町の大きな課題の一つが、町内を安価に移動できる手段（公共交通）が乏しいことです。この度、デマンド交通 tawamo の乗車料金を引き下げ（500円→300円）、運行エリアも町内全域に拡大します（詳細は6～7ページ）。これにより、町内のあらゆる場所へ、300円で移動することができます。八田から佐味まで乗っても300円です。

買い物や通院、友人とおしゃべりタイムへの足に！皆様の「ちょっとそこまで」に寄り添う tawamo をぜひ御活用ください。

最新の町行政情報をお届け

町政トピックス

町政報告会・意見交換会

日時 10月5日(日)
午後2時～3時

場所 青垣生涯学習センター研修室

対象 町内在住・在勤・在学者

定員 30人（応募多数の場合抽選）

申込方法

右記QRコードから



おしゃべりランチ

日時 10月16日(木)
正午～午後1時

場所 町役場 2階町長会議室

対象 町内在住・在勤・在学者

定員 5人（応募多数の場合抽選）

申込方法

右記QRコードから



田原本ウェルカムガイド

交通アクセス、子育て・教育、取組事業まで、田原本町のさまざまな情報を掲載したパンフレットを作成しました。

パンフレットを読んで、田原本町のことをもっとよく知ってみませんか。



「令和7年度 民間提案型官民連携モデリング事業（国土交通省）」に採択されました



橋梁の維持管理に関する課題に対応するため、磯城郡3町は広域連携で持続可能な橋梁維持管理を検討しています。その中で、民間企業による提案を受けた事業が、国土交通省の「民間提案型官民連携モデリング事業」において全国10件のうちの1件として採択されました。今後、地域の実情に即した最適な管理体制の構築を目指し検討を深めます。